

広報

はまなす

編集・発行 〒011-0946 秋田市土崎港中央4-4-26 医療法人 運 忠 会
TEL:018-845-4121 FAX:018-845-4124 Eメール:post@tsuchizakihp.or.jp
印刷：秋田協同印刷株式会社

第73号

(季刊冬号)



年頭のご挨拶

土崎病院 病院長 小野 栄二

皆様、明けましておめでとうございます。平成25年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。当院では昨年6月に病院長の交代があり、私が新病院長に就任いたしました。あっという間に半年が過ぎてしまいました。お陰様で大きな問題を抱える事もなく新年を迎える事ができました。

昨年末の衆議院の総選挙で自民・公明政権が返り咲きました。今年は日本が抱える数々の難問のなかで、原発問題や増え続ける医療費などの私達の健康や生活に直接かかわる問題が新政権によってどのように対処されるのか心配であり、また興味の持たれるところでもあります。さらにTPP問題もあります。かなり先の話にはなりそうですがTPPに参加すると医療関連では、自由診療の増大により国民皆保険が崩壊する危険性があるとして反対している勢力もいます。ただしこの件も本当にそうなるのかどうか情報不足でまだわ

からないようです。ただし、今年はまだ医療費の改定も消費税の増税ありませんが年末頃には来年施行の方向性は示されるものと思われ。はたして景気が上昇して来年は消費税は上がるのでしょうか、そして医療費は……。

土崎病院の理念や方針はこれまでと変わることなく医療と介護を通して地域の皆様に奉仕してまいります。病院ながら地域の皆様のかかりつけ医的な役割も果たしてまいりたいと思います。土崎病院の持つ機能と併設の介護老人保健施設「なぎさ」の機能をフルに生かして、さらに病院間連携も十分利用して皆様に土崎病院に行けばなんとかなると、安心して受診していただけるよう努力を続けてまいりたいと思います。

本年も土崎病院、「なぎさ」を宜しくお願い申し上げます。

土崎病院の理念

私たちは、地域の人々が必要とする「医療と介護」を、患者さんの視点に立って実践するとともに、地域の方々の支援に感謝し、「医療と介護」を通して地域への奉仕に努めます。



いんたらくていが

今年の干支は「巳」、読めば目から鱗が落ちるお話です。

書もまた楽し その3

土崎病院友の会会長 藤原 毅

新年おめでとうございます。会員の皆様とともに新年を寿ぎます。「書もまた楽し」その1では、文房四宝（ぶんぼうしほう）という用語があり、書を学ぶうえでとくに必要な筆、墨、硯、紙の四つを指していること。そしてこれは墨と硯、筆と紙というようにお互い関係が深いことを述べました。その2では、墨の色は一色ではなく原料によって色が異なり、それぞれに色を出す。出し方と淡墨にした作品づくりについて述べました。

私は漢字の一字書を書作する場合、書作する漢字の意味、起源（どのようにしてその字ができたか。その字の成り立ち）や書体などを一応調べて作品づくりに役立てております。今号は、これまでの「書もまた楽し」と若干異なるかも知れませんが、新年でもあり、今年の干支の巳年に係る言伝え等について述べたいと思います。

今年癸巳年です。子・丑・寅などの十二支は、中国の古代人が天空の北極を中心として12区分しそれぞれの方位に対してつけた名称であるそうです。歳星（今日の木星）が約12年で天を一周するので、歳星の位置によってその年を数えることができ、巳年の方位は南南東、時刻は午前10時を挟む2時間（明け四つ）といわれております。

十二支に動物を当てはめ、鼠・牛・虎などというようになったのは、紀元前後一世紀あたりと推定されており、中国が起源の説と古代エジプトなどの西方から西域諸国を経て中国へはいつてきたという説があるようです。

一般に蛇というと「不気味」「怖い」という感じを持たれる方も多いと思います。例えばアダムとイブに禁断の木の実を食べさせたのは蛇といわれ、邪悪なものというイメージがあります。反面、後述のように歴史的にも神聖な生きものとして崇められてきました。地を這う姿は大地母神と関連づけられ、脱皮することから再成や生命力のシンボルとされ、雨や水をつかさどる神ともいわれます。

蛇は家の守り神であり、蛇の夢を見ると蓄財できるともいわれております。白蛇は、七福神の弁財天のお使いといわれ、奈良県の三輪神社（酒造りの神様といわれる。）のお使いも蛇だそうです。このように蛇が神のお使いとして信仰

される例は少なくありません。

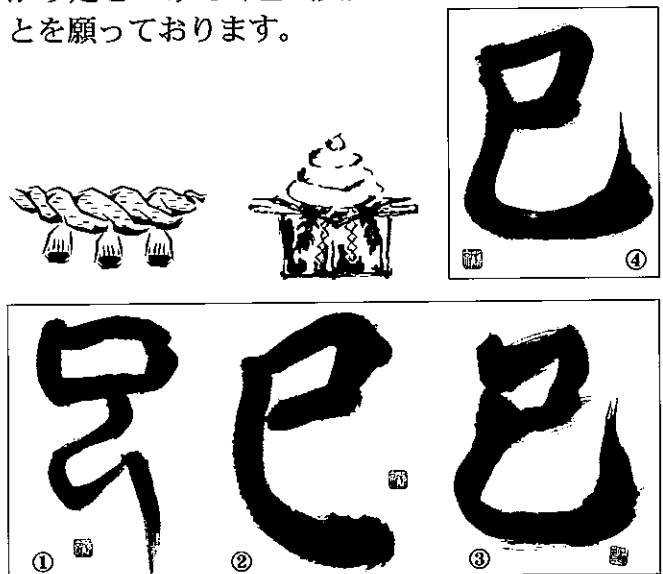
古代エジプトでは、聖蛇が王権の象徴であり1922年に王家の谷で発見されたツタンカーメンの黄金のミイラ・マスクにも見られます。ギリシャ神話の医神アスクレピオスが蛇の巻きついた杖を持っていることから蛇は医学の守り神とされました。この杖は健康の象徴として世界保健機構（WHO）のシンボルマークにもなっております。

蛇は正月の風習とも関連があります。鏡餅は、とぐろを巻いた蛇に見立てた餅、注連縄（しめなわ）は、絡み合った2匹の蛇の姿をあらわしたものだそうです（イラスト）。蛇の旺盛な生命力、脱皮＝再成の力にあやかろうとする信仰なのでしょうか。

「巳」は「己（おのれ）」や「巳（すでに）」の字とまぎれ易いので、区別をするために「己＝おのれ下につき」、「巳＝すでになかば」、「巳＝みはみなつく」と覚えるのも一方法であると思います。

下の色紙④は一般的な書体ですが、①の巳は胎児の象形文字または精霊としての蛇を形どるといわれており、秦漢の頃の金文を下敷に書きました。②は今の日本には踏ん張る力強さも必要と思い、宋の時代の書家黄庭堅を下敷きに骨太に書きました。③は活力ある世の中を願い、清の時代の書家趙子謙を下敷にして動きのある巳にしてみました。

最後になりましたが、今年日本が大地にしっかり足をつけて「巳（実）のある年」になることを願っております。



《はまなす質問箱》 身近な疑問質問をお寄せください。質問方法は受付でお訊ねください。

【疑問質問_64】

また冬の季節になりました。冬以外はどうにか間に合わせていますが、足腰が弱っているために、毎年雪が降ると除雪や日々の買い物に大変苦勞をしています。そのような高齢者を支援してくれる制度が無いのでしょうか。 81歳、独居の女性

回答_64

毎年、冬になると気になりだす除雪。寒くなると外出することも億劫になり、買い物も面倒になりがちですね。一人暮らしの方や高齢世帯の方々には大変な季節です。サービスを有効活用し、寒い冬を乗り切りましょう。

まずは、除雪について説明します。除雪は日常的に行われる家事の範囲を超えるため、介護保険の対象にはなりません。一般的には、下記の行政サービスを利用します。

《高齢者軽度生活援助事業》

要介護認定の有無に関わらず利用できます。シルバー人材センターから援助員を派遣し、庭の清掃や草取り、窓拭きなどを行います。 ○利用回数：1日1回2時間以内で1か月に2回まで ○利用料：1回1時間以内は240円、1時間超2時間以内480円。「玄関から道路に出るまでの通路」の雪よせにも援助員を派遣します。 ○利用回数：1週間1回で1時間以内 ○利用料：1回300円。

また、市道除雪後の玄関前の雪について、高齢者だけの世帯や体の不自由な方だけの世帯については、市道の除雪作業を行った際に生じた玄関先や車庫前の雪の塊を取り除きます。申込は道路維持課(電話 864-3643)へ。更に、屋根の雪下ろしについては秋田市の広報誌に業者が掲載されますので確認してみてください。

次に買い物についてです。介護保険の申請はお済みですか？ 介護認定を受けているのであれば、サービスが受けられるためケアマネジャーに相談してみてください。また、介護保険を未申請であれば担当区域の地域包括支援センターへ相談に行ってみてください。介護保険の申請、もしくは下記の行政サービスを利用することになります。

《高齢者生活管理指導員派遣事業》

65歳以上で要支援・要介護状態に該当しない方が利用できます。調理、掃除、買い物などのお手伝いが必要な場合に生活管理指導員を派遣します。○利用回数：1日1回で1週間に2回まで ○利用料：1回45分未満190円・45分以上(概ね1時間程度)235円。

日常生活では、できることは自分で、できないことは上手くサービスを利用することが大切です。

(文責：介護支援専門員 高橋宏勝)

【疑問質問_65】

週刊誌などに、人間の性格はその人の血液型と深い関係があるように書かれています。それを読み、私自身の性格と重ね合わせて憂鬱になることがあります。関係は本当の事でしょうか、それとも週刊誌の読み過ぎでしょうか。 35歳、B型のOL

回答_65

血液型性格分類は昭和46年に能見正比古らが「血液型でわかる相性」などの一般向け著書を出版した事から日本で一時大きなブームとなりましたが、その後この説は科学的根拠に乏しく統計学的にも不十分としてあまり顧みられなくなっています。

日本ではA、B、O、AB型が程よく分散していますが外国ではA型やO型に人口が偏ってしまっている所もあり血液型性格分類は日本の様には広まっていません。最近の心理学会での話題といえば「科学的根拠に乏しい血液型性格分類をなぜ日本人はいつまでも話題にしているのか」という事で、その答えの一つは「皆が共通して話せる話題であり会話をスムーズに出来るから」という事だそうです。

血液型はA型B型がO型に対して優性の関係にあり親の血液型によって子供の血液型が規定されます。身長、体重、血液型など人間の様々な形質が親から伝わりますが、これらの形質はそれぞれがバラバラに伝わるのではなく、ある組み合わせ(ハプロタイプ)を持って伝わる事が解っています。

人間の性格(気質、心情)が脳の働きに由来する事は誰しも異論の無い所と思いますが脳には1000億個もの神経細胞がありこの神経細胞同士の情報交換は神経伝達物質(ドーパミン、セロトニン、ノルアドレナリン等)によって行われ、この脳内における神経伝達物質の濃度バランスが人間の性格(心情)を決定していると考えられています。

科学的根拠に乏しいとされる血液型性格分類ですが、血液型遺伝子と神経伝達物質関連遺伝子との間に連鎖があれば血液型と性格が連鎖する根拠となりえます。現時点ではドーパミン生成酵素遺伝子と血液型遺伝子の間に連鎖の可能性が指摘されている程度で両者の関係はそれ以上わかっていません。ちなみに一卵性双生児での性格の一致率からは人間の性格は遺伝が40%環境が60%だそうです。

(文責：土崎病院名誉院長・血液内科医師 高橋 薫)



第13回運忠会研究発表会を終えて

図書研修委員（管理事務） 小松 千尋

平成24年10月5日に第13回運忠会研究発表会が行われました。緑ヶ丘病院・三楽園・あまさぎ園から多くの方々にご参加下さり、三法人での活発な質疑応答など情報交換が行われ、とても有意義な会となりました。

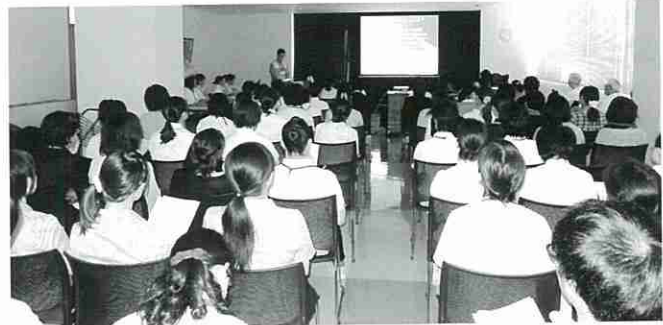
今回は例年に比べ演題が少なかったものの、当委員会の霜田委員長による12年間の演題のまとめ等、内容が非常に濃い会だったと思います。

一昨年の震災後から事務部では節電に取り組み、除々に成果を上げているのを始め、医療の現場では、患者さんの為にさまざまな工夫が行われ、私、事務の人間にとってこの研究発表会は他部署の現状と業務を知る大変良い機会となっております。

その中で最も印象に残ったのは、八木先生の教育講演の「褥瘡のラップ療法」です。家庭で使用されているラップが、まさかこの様な形で利用できるなんて、大変なカルチャーショックでした。八木先生の治療中の経過を写真によって説明され、見事に治癒していく様子は感動的でした。

また、なぎさ通所リハビリでは、他事業所が増加し過当競争の様相を呈している昨今、新しいサービスとして、屋外活動に着目した事は、高齢となり外出の機会が少なくなる利用者にとっても、また、ご家族にとっても良い事ではないでしょうか。

現場の皆さんの日々の真剣な取り組みを聞かせて頂き、各部署との繋がりの大切さをあらためて感じました。私達事務部門も、現場の皆さんを今以上に良い形でサポートしていけるように努力しなければならないと思いました。次回の発表会を楽しみにしています。



発表会場



八木医師の教育講演

- 第13回 運忠会研究発表会プログラム
 番外：平成13～24年 12年間の発表演題数のまとめ
 霜田春男（図書研修委員会）
- 発表1：省エネに関する研究と実践
 ○菅原 崇、塚田 玲（施設管理課）
- 発表2：「屋外活動を実施して」～目的・目標の大切さ～
 ○川村 信、栗山春香、三浦由嘉里
 （なぎさ 通所リハビリテーション）
- 発表3：居宅訪問指導についての紹介と取り組み
 ○鈴木千穂、川村 純、仁部沙織、花田和恵
 （なぎさ療養部 リハビリテーション科）
- 発表4：継続した看護、安全な看護を提供するために
 ○駒井悦子、佐藤えみ子、山本由里子
 （看護部 外来看護）
- 発表5：半固形化栄養剤注入を試みて
 ○安保瑠美子、保坂聖子、嵯峨千春、斉藤あゆみ、
 好川恵美子、太田香苗（看護部 3病棟）
- 教育講演（委員会活動報告を兼ねて）：褥瘡のラップ療法
 八木伸夫（診療部 外科部長・褥瘡対策委員会委員長）

医療法人 運忠会

■ 土崎病院

病院長 小野 栄二

内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科
 糖尿病・代謝内科 血液内科 外科 皮膚科
 心療内科 歯科 歯科口腔外科

秋田市土崎港中央 4-4-26

TEL:(018)845-4121 FAX:(018)845-4140

Web: <http://www.tsuchizakihp.or.jp>

E-mail: post@tsuchizakihp.or.jp

■ 介護老人保健施設なぎさ

◇通所リハビリテーションなぎさ 施設長 岩谷 一夫

◇ショートステイなぎさ TEL:(018)845-3526

■ 土崎ヘルパーステーション

TEL:(018)845-4122

■ 土崎居宅介護支援事業所

■ 土崎在宅介護支援センター

TEL:(018)845-4123

《院内・施設内紹介》 毎日の「食」は人生のかけがえのない楽しみです。

利用者に食事を楽しんでいただく為に

介護老人保健施設なぎさ療養部栄養科管理栄養士 長沢 弥生

平成23年3月11日の東日本大震災に伴い宮城県を拠点とする食品生産工場が被災し、納品の危機に陥りました。今後の備蓄食品の充実が必要であることを痛感し、同時に震災時のみならず普段の利用者の食事やおやつの内容の充実も必要と考えました。

昨年4月1日から給食委託業者が秋田キャッスルホテルに代わりました。委託業者が代わって一番の変化は、おやつと備蓄食品が充実したことです。今まではせんべい・ビスケット・ゼリー等、市販のおやつばかりでしたが、現在は下の写真(①ショートケーキ・②餡ドーナツ・③パバロア)のように、ホテルで手作りされた色々なおやつを提供出来るようになり、利用者には大変喜ばれています。

高齢で嚥下に障がいのある利用者にはケーキの代わりにパバロアやムースを提供するなど皆様に安全に楽しんでもらえるよう工夫しています。夏は水羊羹、秋冬はたい焼き・さつま芋ぜんざい等の季節感のあるおやつを提供して楽しんでいただいています。備蓄食品に関しても3日分の食品と濃厚流動食、補助食品を常備して

おり、震災時も食事を滞ることなく提供出来るように努めています。

(表2)の残菜調査結果をご覧ください。委託業者が代わった平成24年度は平成23年度と比較し一人当たりの残菜量が減りました。そのことは利用者の食事摂取量が増加したことを示しています。

高齢者は和食が好きというイメージがありますが、なぎさではエビフライ・クリームシチュー・サンドイッチ等の洋食やラーメンが好評です。ラーメンは鶏がらでだしを取り、手作りのチャーシューを使っている自慢の一品です。また、四季折々に提供する行事食(④紅葉弁当)も喜ばれています。今後も、変化に富んだ食事を楽しんでいただくためのメニューの工夫を続けて行きたいと考えています。

恒例の「なぎさ祭り」の模擬店メニューにも、キーマカレー・ホテルピザ・男鹿しよつづる焼きそばなどの新しいメニューが加わりました。キーマカレーやピザは実際にホテルのレストランメニューとして提供されている品々です。本格的な料理を手頃な値段で食べられるということもあり、ご来場の方々から「おいしい」と好評をいただきました。

なぎさでは、利用者の嗜好や現在の食事に対する満足度を把握し、献立作成や調理方法に活かすため、毎年4回嗜好調査を実施しています。(表1)をご覧ください。昨年9月の食事に対する満足度調査では、8割の方が良いもしくはまあまあ良い、2割の方が普通という結果でした。施設利用者全員に「食の楽しみ」を満喫していただくため、これからも定期的に嗜好調査を実施し、よりよい食事を提供出来るように努力して行きたいと思っております。

(表1) 食事に対する満足度はいかがですか？

		良い	まあまあ良い	普通
3F	男性	1		1
	女性	4	2	
4F	男性			
	女性	4	4	1
5F	男性	1		
	女性			2
合計	計	10	6	4
	%	50%	30%	20%

(平成24年9月実施のアンケート結果)

(表2) 残菜調査結果(1日平均1人あたりの残菜グラム数)

(単位:グラム)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成23年	38.7	38.2	42.2	43.9	44.1	40.9	42.7
平成24年	31.9	34.9	34.9	36.2	36.4	38.4	37.4



地域に根ざした通所リハビリテーションを目指して

介護老人保健施設なごさ通所リハビリテーション主任 樽川 香織

昨年の4月号に通所リハビリテーションのサービスをご紹介致しましたが、今回は通所リハビリテーションのボランティアについてご紹介したいと思います。

現在、なごさ通所リハビリテーションには、フラダンス・民謡・舞踊など様々なボランティアの方々においでいただいております。おいで頂いているボランティアの方々には、近隣にお住まいの方々が多い状況です。

このように地域の方々に通所リハビリテーションへおいでいただくことで、様々な交流が生まれています。あまり外出機会が無く、地域との交流の場が減ってきている利用者の方々にとっても、普段とは

違う催し物などに触れることで刺激になると喜んでいただいております。

また、現在は民謡や舞踊などが多いですが、子供たちのボランティアなども受け入れられるように計画し、もっと多くの交流を生み出せるように努めていきたいと考えております。

今後はより良い地域交流の場として、より多くの方々に通所リハビリテーションを利用いただき、地域の方々にもボランティアにおいでいただけるよう、より地域に密着した通所リハビリテーションを目指して参ります。

利用について何かご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



「クワイフラダンス」様によるフラダンス



「はまなす会」様による舞踊披露



「クワイフラダンス」様によるフラダンス



「まごころ友の会」様による民謡・歌謡

《四季折々》

栄養科



紅葉弁当 (11月6日)

あ と が き

新年おめでとうございます。本年も「はまなす」へのご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

私事で恐縮ですが、毎年1月2日・3日の箱根大学駅伝のテレビ観戦から私の一年が始まります。

マラソンと違って、中継所に倒れこみながらも母校の襷を次者に繋ぐ姿に、若者達の責任感と伝統の固い絆を感じるためでしょうか。(霜田)